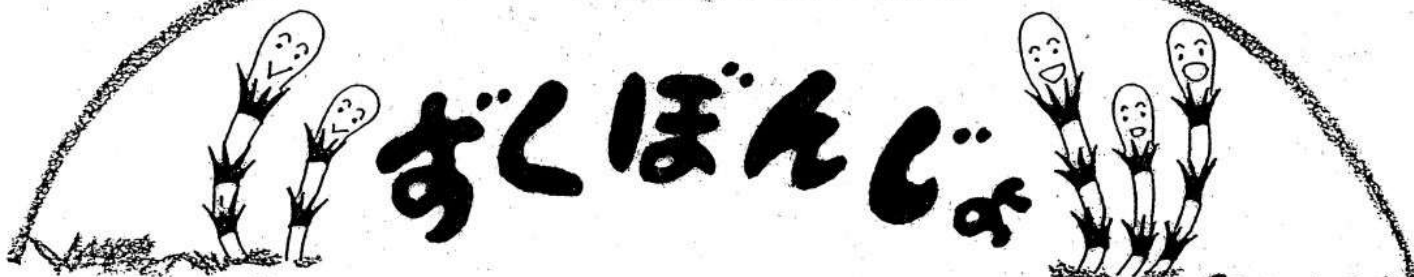


花には太陽を 子どもには 平和を



# くすもんじや

発行第243回 R3.12.6 広報委員会 小金原保育の会 幼児教室

くすもんじや

## 令和3年 11月5日(金) 予算を考える会を開催しました!

くすもんじやの運営にかかわるお金の流れについて、また自主運営について詳しいお話をさせていただく機会がありませんでしたが、今回ようやく開催することができました。保育料改定を決定する前に予算を考える会を開くという順序であれば良かったのですが、コロナ禍という特殊な状況により、やむなくこのような形になりました。くすもんじやの成り立ちについて、お金の流れについて少しでも理解を深めていただけたら幸いです。(会計専従 山岡 侘子)

### 予算を考える会を開催するまで

#### 6月 松戸市より提案

くすもんじやが国の無償化施策に対応できるように「幼児教育類似施設」の規定を満たすことを望む。

保護者への補助金

松戸市在住者のみ 月 15,000円  
国の基準を満たし、制度に乗れば他市在住でも、全ての保護者に月 20,000円の補助金がでる。

7/5 7/9 規定を満たす為保育体制の変更(3日週4日保育 → 週5日保育)が必要になることについて説明、意見を聞く会を行う。保育料を上げることについても意見が出た。

#### コロナウイルス感染拡大のため緊急事態宣言が発出される

9/6 月の来年度園児募集にかかわる説明会にて、正式な保育料を提示する必要があるため、保育料の改定を決定すること、保育体制についても同時に決める会議をZOOMミーティングを行う。保育料改定案を役員会より提示。会議に参加できなかった方には、録画配信を見られるようにした。

アンケート調査で意見を回収。

9/13 臨時運営委員会にて、改定保育料、保育体制について承認

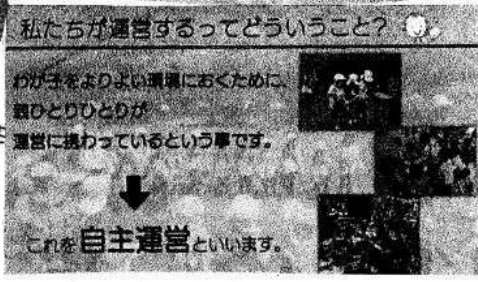
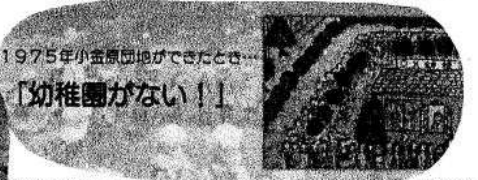
早急に保育料改定を決定したか、値上げをしたことで、職員の給与は上がるのか? 本来、人件費は、このくらいといった金額が示された上で、保育料を考えるのが筋ではないか? という疑問の声もあり、継続して話し合いが必要 → 予算を考える会へ

### まずは成り立ちを知ってもらおう!!

「自分たちでつくる! つくるならいいものを つくりたい!」



そもそも、自主運営という言葉に慣れみのない世代の保護者の方が多数を占める最近、自分たちが主体となって保育の環境を作り上げるとは、どういうことなのか? ここを理解してもらうことが大切であると考えました。



### 自主運営の特性を理解した上で くすもんじやのお金の流れの基本的なことを知って欲しい

#### 保護者の思い

くすもんじやが今後も長く続けていけるよう保育者の給与を上げて欲しい。後に続く人が育っていけるよう、補償する必要もある!! その為に保育料を上げるのは必須ではないか。

#### 保育者の思い

お金を払ふ人だけが、この保育を受けられるというのは設立理念に反してしま、どの子も等しく良い環境で育ってほしい。

#### 理想的な保育者の給与はどのくらい?

参考として、令和元年度 幼稚園・保育所・認定こども園等の経営実態調査より  
私立常勤保育士の月額平均給与 30万,1823円 (平均勤続年数11.2年)

と、すると現在のくすもんじや職員員の人数での総額予想 27,342,000円

つまり、来年度改定予定の保育料を倍額にしても足りない。

#### 保護者の思い、保育者の思いが通じあえるよう

今後も話し合いの場を重ねていきたいと思います。

保育に自信を持っているのだから、本当の月額5~6万円は糸内めるのが妥当。

#### くすもんじや自主運営だから、保育に必要な保育者の数は自分たちで決める!!

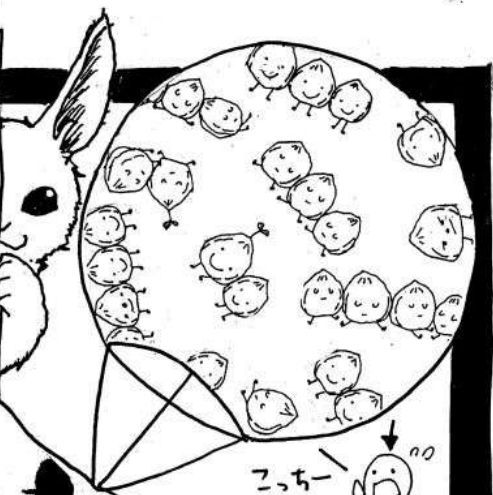
認可園であれば、子ども30人につき保育士〇名(1~2名)という決まりがある。くすもんじやの保育体制は手厚い。売られている。



年長 うさぎぐみ はしゆんま 橋本 詠雙 (母)

子供たちの自信にあふれた姿は、とても感動しました。キラキラとした表情、くやいて涙をこらえている表情、どれも光っていて、あのままでの自分を誇り入れてくれる先住や仲間がいてくれるからこそ、安心して自分をあせているんだよねと、その姿に感動して涙しました。

12年間、運動会に参加してきました... いったって「子供が真ん中の愛わらばい」までは運動会、今年で最後なんだね... とおんぱんを食べながら、夫婦で今日の運動会を思い出して、また大げさは思い出がひとつ増えることと喜び合いました。



3人のくま坊せとくま娘たち

うさぎぐみ はしゆんま 半田 紘 (父)

昨年よりも出来ることが増えたと我が子の姿を見て、また一段と成長はなあと感慨深いものがありました。

また、子どもたちの一生懸命な姿を見て元気を沢山もらいました!



ももぐみ



一生懸命な子どもを支える一生懸命な親達

ももぐみ はしゆんま 青木 元 (父)

初めての運動会。我が子は、最初、いつものと違う雰囲気になれずにおどっていましたか! 次第に落ち着き、玉入れやリレーに参加できました。

先生や年長ちゃんに助けってもらいながら、楽しんで行列や行進をしている姿を見て、成長を感じるとともに、くまぐみ、日々、とても温かい環境で笑顔あふれる素敵な時間を過ごしているの分かりました。

先生や運営に関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。そして、素晴らしい運動会をありがとうございました。



ももぐみ はしゆんま 透太郎 あかり (父)

3度目の運動会は落ち着いて見ることができました。子供達の個性や成長を感じられ、喧嘩しながらも笑顔で過ごしているのを見られて安心しました。



十月十六日(土曜日)。  
コロナ禍で縮小開催した運動会。今年度も例年通りのプログラムとはいきませんでしたが、保護者・保育者共にご協力いただき、子供達の成長を見守る事ができました。

ももぐみ はしゆんま 中村 碧月 (父)

開始前に雨が降り出した時はどうなるかと思いきや無事にくまぐみ入場運動会が開催されました。本当に良かったです。

当日は準備もみんなが協力してアットホームな感じ、伏せも良かったです。子供たちがみんなの応援を力に変えて、元気に競技に取り組みました。成長を感じることができ、とても感動しました。そして、会場の全員の笑顔と楽しんでいたことが一番良かったと思います。

競技中の先生たちへのサポートへのコメントも素晴らしいと思います。

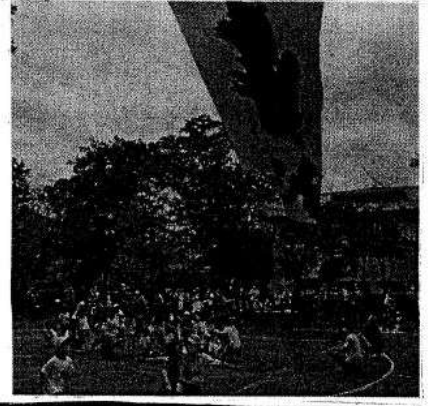
また来年の運動会が楽しみです。

ももぐみ はしゆんま のもとさき (父)

人生初めての運動会。最初は少し体調を崩しましたが、当日は元気一杯。

「行進曲に上手な踊りの2つ、大々かみ、楽しめるかな」と心配していましたが、お友達の手をとり、先生に教えてもらいながら楽しそうに参加して一安心。

年中、年長ちゃんの出陣と真剣にぶーっと見送り、ニコニコしながら玉入れの玉を投げてみたり、上手に踊ってたりと、初めての運動会を存分に楽しんだ様子を見ることと、土曜日をとても楽しく嬉しかった。来年は10人食い競争ができるように!



# お店屋さん

2021. 11. 25

今年もお店屋さんの日がやってきました。うさぎぐみさんが中心となって活動しますが、ひばりぐみ、ももぐみの子ども達もそれぞれの課題に取り組み、また楽しみました。「子どもを真ん中に」そんなくろみえんの理念が随所に感じられる場となりました。

「どんなお店にしたい?」保育者の問い掛けに対し「テラスモール」と答えたうさぎぐみの子ども達。「テラスモールの中のどんなお店?」さらに問い掛けると「やきとり」「金魚屋さん」「水を使いたい」。保育者との会話の中から子ども達のアイデアがどんどん生まれます。「水は使えないね。代わりにビニールを入れようか?」保育者の提案に対し「ちがう」。「じゃあこんなの?」また「ちがう」。自分達のできる形を模索していくなかでも、それぞれのこだわりは忘れません。そんな子ども達のお店とその裏にあるエピソードを紹介します。



ひばりぐみさんが作ってくれた品々

ペロロ  
キャンディー

フェルトとストローで作ったネックレス

時計

ひばりさんはうさぎぐみを見ながら来年について考えます

初出店の金魚屋

プラスチックケースに目をつけた。

紙コップにヒレをつけた。

毎年更例うさぎぐみのじゃす玉ネックレス。大木先生のお子さんがくろみえんに通っていた頃から既にあり、実は歴史が長い!何年も続いていく中で各組それぞれの定番商品が生まれました。

何回釣ってもOK!  
つりぼり



「お買い物券がなくても楽しめるものがあるといいね」そんな問い掛けに対し、小さな動物園が前日、お帰りの間に作られました。

オープン是最初と最後のみ。お客さんとなったうさぎぐみの母達と「お金」のやりとりをします。「お金」は過去に作られたストックを使いますが足りなければ新たに作り補充します。



ももぐみ作・看板

ももぐみのお部屋ではレストランが開店。うさぎぐみは交代で給仕したよ。

のりもの屋

キラキラ屋のキラキラカーン

緩衝材と王冠

のりもの屋「たけこ」パソコン

スイッチは王冠

作りおきはイヤ!できたてをその場で提供したい。極上の一杯の為に子ども達は試行錯誤を重ねます。

スープ:マジックで器の中を茶色くぬる。  
麺:黄色の毛糸  
チャーシュー:茶色い貝がら  
ねぎ:緑の折紙を切っていたり...間に合わない!マジックで点々を描くこと!

電車(モトール)

も走ったよ。  
運転士は交代制。

どのお店でも普段のワークでの経験が活かされています。子ども達は作る喜びに加え、それを売る喜び、売った相手に喜ばれる喜びを体験してまたひとつ成長したようです。また、お買い物に参加したうさぎぐみの母からは「楽しかった!」「品物について質問すると、子ども達が一所懸命説明してくれた。その姿に感動した!」「全部買ってあげたかった!」といった声が寄せられました。(協力:大木天王 インタビュー:山本・八木橋)

園庭にはウサギとワニのモニュメントが出現!うさぎぐみの子ども達がダンボールを持ち寄りその場で考えながら組み立てました。乗れるように中は新聞紙や小さい箱で補強してあります。(作成期間:土台3日、色ぬり1日)

なんと!ワニはしゃべることができるのだ!

◆編集後記◆

みなさん、今年の広報部員は実に個性派揃いです。お気付きかと思いますが、高い画力の持ち主が二人います。一人は発想豊かで表現力溢れるクワイター。もう一人は繊細で優しいタッチが魅力的でまるで絵本作家のよう。画伯二人による絵とアイデアと文章の相互作用は見事としか言いようがありません。他のメンバーはというと、計画的で段取り上手なしっかり者のリーダー、思いつかない発言が的確で斬新な風を吹き込む経験豊富な意見番、丁寧な仕事ぶりや美しい字体が笑直な人柄を表している癒やし系。そして広報の重鎮・山岡さんを囲んで個性豊かなメンバーが集う編集作業はいつも笑いに溢れています。母達の意外な一面を発見できるも自由運営ならではの良さですね。

うさぎ組保育ヘルパー 担当 半田(ひばり組)

はじめてヘルパーに入らせていただきました。勝手が分からずお役に立てたかどうか心配ですがとても良い経験させていただきました。うさぎ組さんの朝の流れが分からないのんびりと構えていましたが、先生方がテキパキと子ども達の動きに合わせて声をかけながら流れを作っていく様子を見てすごいなあと思いました。全体を見てまとめていくというのは大変な作業だなと思いました。改めて先生方の心配りや子ども達の関わり方の姿勢を直に見て感謝の気持ちでいっぱいになりました。

もも組さんへの関わり方とは違い、うさぎ組さんは年長さんということ子ども同士にまかせる。子どもにさせる。という自主性をより大事にしているんだなと思いました。例えば、2人でものの取り合いがありました。うさぎ組さんだから自分で解決できるよね」と先生に声をかけられ2人は少し手を止めた後取り合いを続け結局、先に使っていた子がカズくで奪い、取られた子が悔しい声をしつつも、すぐに2人とも何もなかったように一緒に遊びはじめました。「〇〇やろう!」「いいよ!」とお互いに協力して遊んでいる様子を見て、子ども同士に任せることの大切さを改めて実感しました。ありがとうございました。

先生より  
子ども達は一緒に時間を楽しく過ごせたと思います。課題だけではなく、遊びのなかにも年齢の違いがあり大人の声かけも違っていきます。子どもどうしの解決のしかたを見てると驚きが多いです。ありがとうございました。

ひばり組保育ヘルパー 担当 林(うさぎ組)

今回初めて保育ヘルパーに入りお手伝いさせていただきました。朝のお集まりの時先生が「誰のお母さん分かる?」とひばり組さんのみんなに質問すると「げんきくんのお母さん!!」と一斉に答えてくれて、今まであまりひばり組さんと関わりがなかったのに私のこと認識してくれていることにびっくりすると同時に嬉しくもありました。

今日は雨でしたので、主に室内での遊びをしていました。工作をする子。電車ごっこをする子。ブロックで遊ぶ子などみんなそれぞれ自分達で遊びを見つけ、それをどんどん展開させていき私も一緒に遊んでいてとても楽しかったです。次々新しいことに興味が湧き、新しいことに進んでいくのでついていくのに必死であつという間に時間が経ってしまいました。今日のヘルパーを経験させていただきました。先生方の落ち着いた声かけや対応が子ども達に安心感を与え、思う存分好きなことに取り組んでいけるのだなと実感しました。今日は本当に楽しかったです。ありがとうございました。

先生より  
工作やお絵かきをしている子たちを中心にみていただいていたので安心して他の子たちをみていることができませんでした。でも、その子たちだけでなく他の子の様子も大きな広い気持ちでみてくださりうれしかったです。楽しかったと言っていた好きなによりでした。ありがとうございました。



ヘルパーノートを読んだことがありますか?  
保育のお手伝いをされた方が、その日の出来事や感想を書いているヘルパーノート。  
読んでみると、そこには子育てのヒントが沢山!!  
今回は3名のお母さん達の感想と、先生からのコメントを紹介したいと思います。

# ヘルパーノート



もも組保育ヘルパー 担当 斎藤(ひばり組)

今回初めて保育ヘルパーでワクワクドキドキして当日を迎えました。もも組さんのみんなは無邪気で、人懐っこくて元気一杯で教室に入った途端に楽しい気分になりました。

興味津々で近寄り話しかけてくれる子。  
気になるけど遠くから様子を見てる子。

どの子も本当に可愛かったです。「子どもらしい」子どもの様子が見られて、皆んなにとってくみえんが安心できて、そのままの自分でいられる素敵な居場所なんだなと改めて感じました。

子ども達の想像豊かなところもたくさん見られて、更に先生(会田先生)がより楽しく、より面白く遊びの幅をどんどん広げていくところを間近で見ることができて、とても素敵!!と密かに感動していました。くみえんで大切な幼少期を過ごせる子ども達はとても恵まれていて幸せだなと思います。改めて息子がくみえんに通ってよかったと感じています。もも組さんのみんなと短時間ですが一緒に過ごして、年中さんのみんなはずいぶん成長(心も身体も)したんだなと思いました。たった1年で本当に大きく成長して、子ども達の持つ素晴らしい人間力、パワー、可能性に驚かされる感動するばかりです。

ただ遊んでいるだけのように見えても、その遊びの中で様々な学ぶ機会もあり、やはり子供にとっては遊びを通して学ぶことが一番身に付きやすく最良の方法なのだろうと子ども達の様子を見ていて思いました。

今回の保育ヘルパーで、先生方の子ども達と接する様子や声かけを見ることでできて、自身の日々の育児の参考になりとても良かったです。可愛い子ども達と楽しく遊んであつという間に時間が過ぎていきました。素敵なひと時をありがとうございました!!

先生より

次々遊びが展開していく午前中だったようです。十分に楽しんだという事がクラス会から帰ってきた時の子ども達の顔でわかりました。「やいとうさん さようならー」と言っていた子がいて親しくなれたようです。

質問

\*子ども達の手が出る少し激しめなケンカになった時の対応が知りたいです。  
保育者はどの位介入して、どのような声かけをすればいいのか。今後の参考に教えていただけたら嬉しいです。

先生より

3歳児は止めてどうしたかったかどう思ったか聞くようにしています。

\*遊びに加わらず1人でポツンとしている子への対応も同じく知りたいです。声かけの仕方など。

先生より

斎藤さんがいつも子どもに接しているように話しかけてもらえれば良いです。もし遊びに参加しなくても見ているのが好きな時もあります。一緒に遊べるようでしたら遊んでください。